

Appendix

Evidence Based Practice の状況および診療ガイドラインの使用方法・使用状況に関する調査

I. 最初に、あなたのことについてお聞きします。

あなたが適当であると思うところに☑チェックを入れてください。

1. あなたの性別をお答えください。

☐ 男性 ☐ 女性

2. あなたの年齢層をお答えください。（満年齢でお答えください）

☐ 20-29 歳 ☐ 30-39 歳 ☐ 40-49 歳 ☐ 50-59 歳 ☐ 60 歳以上

3. あなたが卒業した理学療法士養成校をお答えください。

☐ 専門学校
☐ 短期大学
☐ 大学
☐ 大学院（修士課程）
☐ 大学院（博士課程）

4. あなたの理学療法士の経験年数をお答えください。例) 現在 10 年目である場合は、経験年数 9 年となります。

☐ 3 年未満 ☐ 3-5 年 ☐ 6-10 年 ☐ 11-15 年 ☐ 16-20 年 ☐ 21 年以上

5. あなたは認定理学療法士または専門理学療法士に認定されていますか。（複数回答可）

☐ 認定理学療法士 ☐ 専門理学療法士 ☐ いいえ

5a. 認定・専門理学療法士に認定されていると答えた方に質問です。どの領域かお答えください。（複数回答可）

6. あなたは、以下のどのような施設で働いていますか。（複数回答可）

☐ 病院 ☐ 訪問看護ステーション ☐ デイサービス・デイケア
☐ クリニック ☐ その他（ ）

7. どの病期で働いていますか。（複数回答可）

☐ 急性期 ☐ 亜急性期 ☐ 回復期 ☐ 生活維持期（外来含む） ☐ その他（ ）

8. あなたは、以下のどの疾患を対象に理学療法を行っていますか。（複数回答可）

☐ 整形外科疾患 ☐ 発達障害 ☐ スポーツ障害
☐ 脊髄障害 ☐ 切断 ☐ 精神疾患
☐ 神経筋疾患 ☐ 脳卒中 ☐ 呼吸器疾患
☐ 循環器疾患 ☐ その他（ ）

9. あなたの雇用形態と週あたりの労働時間をお答えください。（複数回答可）

☐ 常勤 ☐ 非常勤 ☐ その他

9a. あなたの労働時間はどのくらいか下記にお答えください。（残業は含まない）

_____ 時間／週

10. 何人の理学療法士があなたの職場で働いていますか。（複数回答可）

☐ 3 人未満 ☐ 3-5 人 ☐ 6-10 人 ☐ 11-15 人 ☐ 16 人以上

11. あなたの主な職場の病床数を下記にお答えください。

_____ 床 ☐ なし ☐ わからない

12. あなたは、現在研究に携わっていますか。

☐ はい ☐ 部分的に ☐ いいえ

Evidence Based Practice の状況および診療ガイドラインの使用方法・使用状況に関する調査(つづき)

II. 以下は、EBP に対するご意見、ご使用状況についての質問です。

※EBP とは、入手可能な最良の研究と個々の臨床経験、患者の選択（嗜好）を統合したものです。

あなたが最も適当であると思うところに☑チェックを入れてください。

13. あなたは、臨床において EBP を取り入れることが必要であると思いますか。

☐ 強く思う ☐ 思う ☐ どちらでもない ☐ あまり思わない ☐ 全く思わない ☐ わからない

14. EBP を取り入れることで、患者治療における意思決定を支援すると思いますか。

☐ 強く思う ☐ 思う ☐ どちらでもない ☐ あまり思わない ☐ 全く思わない ☐ わからない

15. EBP を取り入れることは、患者の選択（嗜好・希望）を考慮していると思いますか。

☐ 強く思う ☐ 思う ☐ どちらでもない ☐ あまり思わない ☐ 全く思わない ☐ わからない

16. EBP を取り入れることで、患者治療の質は改善すると思いますか。

☐ 強く思う ☐ 思う ☐ どちらでもない ☐ あまり思わない ☐ 全く思わない ☐ わからない

17. あなたは、EBP を取り入れた治療を行なうことで、費用対効果を向上することができると思いますか。

☐ 強く思う ☐ 思う ☐ どちらでもない ☐ あまり思わない ☐ 全く思わない ☐ わからない

18. あなたは、EBP に関する必要な知識や技術を学びたいと思いますか。

☐ 強く思う ☐ 思う ☐ どちらでもない ☐ あまり思わない ☐ 全く思わない ☐ わからない

19. あなたの職場で、現在 EBP が推奨されていますか。

☐ 強く推奨されている ☐ 推奨されている ☐ どちらでもない ☐ あまり推奨されていない

☐ 全く推奨されていない ☐ わからない

20. あなたは、臨床の疑問に十分に答えうる論文があると思いますか。

☐ 強く思う ☐ 思う ☐ どちらでもない ☐ あまり思わない ☐ 全く思わない ☐ わからない

21. あなたは、文献や調査研究の結果は、日々の臨床に役立っていると思いますか。

☐ 強く思う ☐ 思う ☐ どちらでもない ☐ あまり思わない ☐ 全く思わない ☐ わからない

III. 以下は、EBP を利用するための情報収集方法についての質問です。

あなたが最も適当であると思うところに☑チェックを入れてください。

22. あなたは、EBP に関する教育を受けたことがありますか。

☐ はい ☐ 部分的に ☐ いいえ

23. あなたは、論文の批判的吟味に関する教育を受けたことがありますか。

☐ はい ☐ 部分的に ☐ いいえ

24. あなたは、あるテーマに関するさまざまな論文をまとめる自信がありますか。

☐ 強く思う ☐ 思う ☐ どちらでもない ☐ あまり思わない ☐ 全く思わない ☐ わからない

25. あなたは、臨床における疑問に対し、関連のある論文を探す能力があると思いますか。

☐ 強く思う ☐ 思う ☐ どちらでもない ☐ あまり思わない ☐ 全く思わない ☐ わからない

26. あなたは、医学検索サイト（例えば、医中誌、Pubmed など）の使用方法を熟知していると思いますか。

☐ 強く思う ☐ 思う ☐ どちらでもない ☐ あまり思わない ☐ 全く思わない ☐ わからない

27. 最近 1 ヶ月の間に臨床に関する論文をあなたは、何本読みましたか。

☐ 1 本以下 ☐ 2-5 本 ☐ 6-10 本 ☐ 11-15 本 ☐ 16 本以上

28. 最近 1 ヶ月の間に、臨床に関する論文を探すために、医学検索サイト（例えば、医中誌、Pubmed 等）をあなたは、何回使用しましたか。

☐ 1 回以下 ☐ 2-5 回 ☐ 6-10 回 ☐ 11-15 回 ☐ 16 回以上

Evidence Based Practice の状況および診療ガイドラインの使用方法・使用状況に関する調査(つづき)

IV. 臨床における診療ガイドラインのご使用状況，理解度についての質問です。

診療ガイドラインは，「医療者と患者が特定の臨床状況において，適切な診療の意思決定を行うことを支援する目的で系統的に作成された文書」のことです。

あなたが最も適当であると思うところに☑チェックを入れてください。

29. あなたは，臨床に関する「診療ガイドライン」の存在を知っていますか。

☐ はい ☐ 部分的に ☐ いいえ

30. あなたは，臨床に関する「診療ガイドライン」を利用していますか。

☐ はい ☐ いいえ ☐ わからない

30a. はいの方にお聞きます。

①診療ガイドラインの利用によって，臨床に対して自信を持てたことがありますか。

☐ はい ☐ 部分的に ☐ いいえ ☐ わからない

②診療ガイドラインの利用によって，他職種とのコミュニケーションが円滑になったことがありますか。

☐ はい ☐ 部分的に ☐ いいえ ☐ わからない

31. あなたは，臨床で「診療ガイドライン」を利用することは重要であると思いますか。

☐ 強く思う ☐ 思う ☐ どちらでもない ☐ あまり思わない ☐ 全く思わない ☐ わからない

32. あなたは，「診療ガイドライン」が容易にアクセス可能なものである必要があると思いますか。

☐ 強く思う ☐ 思う ☐ どちらでもない ☐ あまり思わない ☐ 全く思わない ☐ わからない

33. 「診療ガイドライン」は，あなたの臨床に役立っていると思いますか。

☐ 強く思う ☐ 思う ☐ どちらでもない ☐ あまり思わない ☐ 全く思わない ☐ わからない

34. あなたは，患者が最良な治療を受けるためには，「診療ガイドライン」は重要であると思いますか。

☐ 強く思う ☐ 思う ☐ どちらでもない ☐ あまり思わない ☐ 全く思わない ☐ わからない

35. あなたは，患者が平等に治療を受けるためには，「診療ガイドライン」は重要であると思いますか。

☐ 強く思う ☐ 思う ☐ どちらでもない ☐ あまり思わない ☐ 全く思わない ☐ わからない

36. あなたは，「診療ガイドライン」と患者の好みをまとめて，意思決定を行うことができますか。

☐ 強く思う ☐ 思う ☐ どちらでもない ☐ あまり思わない ☐ 全く思わない ☐ わからない

37.以下の項目についての理解度についてお答えください。

	よく理解できている	やや理解できている	理解できていない	用語自体を知らない
a) 相対リスク	☐	☐	☐	☐
b) 絶対リスク	☐	☐	☐	☐
c) システマティック レビュー	☐	☐	☐	☐
d) オッズ比	☐	☐	☐	☐
e) メタアナリシス	☐	☐	☐	☐
f) 信頼区間	☐	☐	☐	☐
g) 異質性（ヘテロ性）	☐	☐	☐	☐
h) 出版バイアス	☐	☐	☐	☐
i) 批判的吟味	☐	☐	☐	☐
j) 費用対効果	☐	☐	☐	☐

V. 以下は、診療ガイドラインを利用するための情報収集方法についての質問です

38. あなたは、所属施設で臨床に関連するデータベースやインターネットにアクセスできますか。

- ☐ はい ☐ いいえ ☐ わからない

☐ はい ☐ いいえ ☐ わからない

☐ はい ☐ 部分的に ☐ いいえ

(5つない場合は、利用したことがあるもののみ挙げてください。)

- 1) 2) 3)

- 4) 5)

(複数回答可)

- ☐ 時間が足りない。
- ☐ 研究能力が不足している。
- ☐ 診療ガイドラインを見つけることができない。
- ☐ 診療ガイドラインを読むのに非常に時間がかかる。
- ☐ 診療ガイドラインはあまりに広い範囲を記載しているため、どれを適用できるか特定できない。
- ☐ 診療ガイドラインは項目が列挙されているだけで、どれが最も適切かわからない。
- ☐ 診療ガイドラインは受け持っている患者に使用できない。
- ☐ 職場において、診療ガイドラインの利用に関して推奨されていない。
- ☐ 関心がない。
- ☐ その他、（ ）

例) ○○の項目を追加して欲しい, ○○がわかりにくい,

藤本修平，大高洋平，高杉 潤，小向佳奈子，中山健夫：

—質問紙調査法を用いた横断研究—, 理学療法学第45巻第1号 38～47頁